

災害の対応とT P Pについて



谷崎 利浩

谷崎 河川の氾濫時の対応は。佐藤総務課長 遊水池に県が24時間のカメラを設置しており（県のホームページの統合型熊本県防災情報にアクセスすればリアルタイム情報が入ります）警戒水位を超えますと、職員に携帯メールで連絡が入って来ます。その情報を元に現地の機械観測と目視観測、雨量を考えて、総務の災害待機班が判断し、住民の方にお知らせ端末または防災無線を通じて情報提供を行うことになっていきます。

谷崎 避難所指定について、人口基準や地域基準はあるのか。また、阿蘇中体育館を取り壊した後の避難所はどうなるのか。
総務課長 人口基準とかは特に定められておりません。新たな避難所の計画をやっているところで、消防署・新病院を考えています。新病院も災害時は拠点的な施設になりますので、避難所としての機能は十分発揮出来るものと思います。



遊水池の定点カメラ（内牧）

未来をシミュレーションする課は。渡辺総務部長 市の総合計画であれば企画振興課、新規事業については秘書政策室の方で事前評価をします。国際グローバル化を頭に入れたシミュレーションというところになります。と、難しいのが現状です。
谷崎 農政関係で過去の事例は。本山農政課長 牛肉自由化については、零細な農家が減少したものの規模拡大が進み、全体的な頭数はあまり変化が見られませんでした。これは国の手厚い対策で極端な減少はなかったものです。しかしながら林業は、自由化により木材輸入量が増加し、自給率の低下で大打撃を受けております。

バリンフエスティバルに代わる事業とは



田中 弘子

田中 11年続いたバリンフエスタが不調に終わり、新たな計画が旅館組合と共同作業で行われるとのことですが、その内容は。吉良商工観光課長 バリンフエスティバルは天候に左右されやすいイベントでしたので、今回、旅館組合と行政が連携した形でイルミネーション事業へ移行することになりました。中央公園を起点に毎年700万円程度を支援していき、長期間、冬の催し物として発展させていきたいと思っています。

佐藤市長 観光の問題については、阿蘇山のガス規制で年間約30万人が火口を見れないということもありますし、その中で地域の人たちと一緒に注いでまいりたいと思っています。

子宮頸がん等のワクチンの継続助成について

田中 この基金が、3月で国としては中止ということで不安ですが、これまでの利用者数と、今後中止の場合の市の対応をお聞きたい。

城健康福祉課長 子宮頸がんワクチン予防接種は、ワクチンの供給不足により実質7月からの実施となり、本年度は中3、高1を対象に行い、244名中、123名の接種でした。小児用ワクチン等も10月末現在で73名が受けています。新年度において23年度と同様に実施したいと思っています。
市長 将来を担う子どもは大切です。人づくりも兼ねてこれからの子どもを支えるような政策を取り組んでいきたいと思っています。

この質問の後に国のワクチン助成継続が決定されました。他に「統合中学校の通学路」についての質問がありました。



中央公園のイルミネーション

遊水地(池)の管理状況は



大倉 幸也

大倉 遊水地の除草等の管理状況は、

高橋土木部長 遊水地（一の宮、内牧、小野、無田の4箇所）に関しては、河川管理者である熊本県から市が委託を受け、地元の方々に管理をお願いしています。

大倉 内牧遊水池は、公園化されて綺麗に管理をされている。他の所と管理状況にかなり差があるように思うが。

土木部長 内牧遊水池については中心部で旅館も近いということで248万円程度の委託費です。無田と小野は23万円程度で管理をお願いしております。

大倉 今後遊水地の計画があるが、同じ阿蘇市であるのに管理委託費があまりにも違うが、県の方にも予算の増額をお願いしては。

土木部長 熊本県の方にも安心安全な環境を作るためにも委託費用の増額をお願いして行きたいと思っています。

インターネット公売のすすめ



遊水池（内牧）



遊水池（小野）

大倉 市税滞納の状況は。

山口税務課長 滞納額は22年度までの異計で5億2千7百万円、百万以上の滞納者が141名程おられます。**大倉** 滞納者への対応、差押までの流れは。

税務課長 まずは納税相談という形で対応させていただいております。誓約不履行の場合、差押を行います。ただ、これだけ滞納金額が大きくなっております、厳しい形で対応していきたいと思っております。

大倉 差押物件の公売の業績をあげるためにもインターネット官公庁公売を進めては。

税務課長 昨年からの一部の物件については利用しております。意外と高く売れる物もありますので、できる限り使って行きたいと思っています。

内牧商店街再生に向けた地域と行政との連携について



園田 浩文

園田 内牧温泉の宿泊者数と、日帰り旅行者の人数は。

吉良商工観光課長 県の観光統計によりますと、宿泊者数は平成21年が約33万1千人、22年が約33万2千人で、日帰り旅行者数は、約20万人でした。

園田 地域づくり団体協議会の登録団体数と、活動内容は。

井野企画振興課長 登録団体は市全体で31団体。内牧地区に係る団体は7団体で、その活動内容は商店街活性化に関連する事業や環境美化活動に積極的に取り組まれています。

園田 内牧商店街の活性化検討会の会合を持たれたことがあるか。

企画振興課長 内牧中心市街地活性化検討会議の会合があった実績は、残っています。

園田 合併後の内牧中心市街地活性化事業への国、県、市の予算執行の状況は。

企画振興課長 あそ☆ビバ整備工事、防犯灯整備工事、体育館周辺の整備工事など含めると、総額5億5千万円ほど、執行されています。

園田 これだけの予算執行で、費用対効果が表れない原因は。
企画振興課長 役割分担として行政としましては、ハード面を担い、ソフト面においては、地域の方々に考えて頂くことが、内牧商店街再生という目標に近づける手段ではないかと考えています。

園田 秋のイベントの実績は。
商工観光課長 グルメフェアは、2日間で約3万人の来場者、元氣ウォークは、2日間で約15000人の参加者があり、この実績を踏まえた次の展開を図っていこうと考えています。

他に、「除雪作業の範囲及び予算について」等の質問がありました。



グルメフェアの様子